

公表

事業所における自己評価総括表

○事業所名	児童発達支援センターおかば学園			
○保護者評価実施期間	2026年5月20日		～	2026年6月20日
○保護者評価有効回答数	(対象者数)	2名	(回答者数)	2名
○従業者評価実施期間	2026年5月20日		～	2026年6月25日
○従業者評価有効回答数	(対象者数)	3名	(回答者数)	3名
○訪問先施設評価実施期間	2026年5月20日		～	2026年6月20日
○訪問先施設評価有効回答数	(対象数)	2名	(回答数)	2名
○事業者向け自己評価表作成日	2026年6月29日			

○ 分析結果

	事業所の強み（※）だと思われること ※より強化・充実を図ることが期待されること	工夫していることや意識的に行っている取組等	さらに充実を図るための取組等
1	訪問先(学校園)との良好な関係性の構築	訪問先(学校園)の方針は第一優先としつつ、対象児の状況や環境をふまえて、先生方と情報共有と相談を行っています。	・先生方との情報共有の頻度と質を高め、対象児の変化をより早期に把握できる体制を整えています。 ・必要に応じて、訪問先(学校園)で取り入れやすい支援方法や環境調整の具体例を提示し、実践につながる支援の強化に努めます。
2	対象児の生活、学習場面の訪問時の実際の様子を重視した支援ができていないこと	・訪問時には、生活・学習場面での対象児の様子を細かく観察し、行動の背景や環境要因を丁寧に把握するよう努めています。	訪問先(学校園)と観察の焦点を共有し、行動の背景や環境要因を共通の視点で捉えられるよう、事業所内での振り返りや情報共有を強化に努めます。
3			

	事業所の弱み（※）だと思われること ※事業所の課題や改善が必要だと思われること	事業所として考えている課題の要因等	改善に向けて必要な取組や工夫が必要な点等
1	必要に応じて、教具教材の導入や活用方法を検討し、支援の幅を広げること	現状では訪問時に教具教材を使用していないため。	改善に向けて、教具教材の種類や活用方法に関する情報収集を進め、必要となった際に適切な教材を提案できる体制づくりを行っています。また、対象児の課題に応じた教材の選定や活用場面の検討を事業所内で共有し、支援の幅を広げられるよう準備を行っています。
2	支援計画の根拠となるアセスメントの記録方法を、より明確に整理していくこと	アセスメントツールは整備されているものの、訪問支援の場面で求められる視点に合わせてより的確に活用するための改善の可能性があり、記録方法の整理が課題となっている。	アセスメントツールは整備されているものの、訪問支援の場面で求められる視点に合わせて、訪問時の観察内容や園からの情報とツールの結果をより的確に結びつけられるよう、支援計画の根拠の整理方法を改善していきます。
3			

公表

保護者からの事業所評価の集計結果

事業所名 児童発達支援センターおかば学園

公表日 2026 年 6 月 30 日

利用児童数 2名 回収数 2名

		チェック項目	はい	どちらとも いえない	いいえ	わからない	ご意見	ご意見を踏まえた対応
環境・ 体制 整備	1	訪問支援に使用する教具教材が整えられていますか。	○					
	2	プライバシーに配慮された面接室等が整えられていますか。	○					
	3	事業の目的が適切に説明されていると思いますか。	○					
	4	保育所等訪問支援の頻度や時間について、相談の上決定されていますか。	○					
適切 な 支 援 の 提 供	5	こどもの状態に応じた支援が提供できる職員（職種や人数）体制だと思いますか。	○					
	6	こどものことを十分に理解し、こどもの特性等に応じた専門性のある支援が受けられていると思いますか。	○					
	7	こどものことを十分理解し、こどもと保護者のニーズや課題が客観的に分析された上で、保育所等訪問支援計画（個別支援計画）が作成されていると思いますか。	○					
	8	保育所等訪問支援計画（個別支援計画）には、訪問先施設や担任等の意向が盛り込まれていると思いますか。	○					
	9	保育所等訪問支援計画には、保育所等訪問支援ガイドラインの「保育所等訪問支援の提供すべき具体的内容」も踏まえながら、具体的な支援内容が設定されていると思いますか。		○				
	10	保育所等訪問支援計画に沿った支援が行われていると思いますか。	○					
	11	保育所等訪問支援を実施する際、訪問先施設に配慮した支援が行われていると思いますか。	○					
保 護 者 へ の 説 明 等	12	事業所を利用する際に、運営規程、利用者負担等について丁寧な説明がありましたか。	○					
	13	「保育所等訪問支援計画」を示しながら、支援内容の説明がなされましたか。	○					
	14	事業所では、家族に対して家族支援プログラム(ペアレント・トレーニング等)や家族等も参加できる研修会や情報提供の機会等が行なわれていますか。	○					
	15	必要なときにこどもの状況を保護者と伝え合い、こどもの健康や発達状況、課題について共通理解ができていると思いますか。	○					
	16	定期的に、面談や子育てに関する助言等の支援が行われていますか。	○					
	17	事業所の職員から共感的に支援をされていると思いますか。	○					
	18	こどもや家族からの相談や申入れについて、対応の体制が整備されているとともに、こどもや保護者に対してそのような場があることについて周知・説明され、相談や申入れをした際に迅速かつ適切に対応されていますか。	○					
	19	こどもや保護者との意思の疎通や情報伝達のための配慮がなされていると思いますか。	○					

	20	事業所は、訪問先施設からの相談等に適切に応じ、必要な助言と支援が行われていると思いますか。	○					
	21	保育所等訪問支援を実施した際に、訪問先施設と訪問支援の内容について話し合いが行われていると思いますか。	○					
	22	保育所等訪問支援を実施した際に、保護者に対して適切に共有がなされていると思いますか。	○					
非 常 時 等 の 対 応	23	定期的に通信やホームページ・SNS等で、活動概要や連絡体制等の情報や業務に関する自己評価の結果を子どもや保護者に対して発信されていますか。	○					
	24	個人情報の取扱いに十分に留意されていると思いますか。	○					
	25	事業所では、緊急時の対応について訪問先施設と連携し、実践できるようにしていると思いますか。	○					
満 足 度	26	事業所より、子どもの安全を確保するための計画について周知される等、安全の確保が十分に行われた上で支援が行われていると思いますか。	○					
	27	子どもは訪問支援を嫌がっていませんか。	○					
	28	事業所の支援に満足していますか。	○					

公表

訪問先施設からの事業所評価の集計結果

事業所名		公表日 2026 年 6 月 30 日				
児童発達支援センターおかば学園		利用児童数 2名 回収数 2名				

	チェック項目	はい	どちらとも いえない	いいえ	ご意見	ご意見を踏まえた対応
1	訪問支援員からの助言や説明は、具体的でわかりやすく、取り入れやすいものです。	○			対象児がどこでつまづいているか、困っているか具体的に教えていただきました。	今後も、学校園で取り入れやすい形で、より分かりやすく具体的な助言・説明を行えるよう努めてまいります。
2	訪問支援員の支援に対する知識・技術等に満足していますか。	○			専門的な知識をもった方に見ていただく機会はなかなかないので良い機会となっています。	
3	訪問支援員は質問に対して、適時・適切に回答してくれていますか。	○			いつも気さくに話しかけてくださりありがとうございます。	
4	保育所等訪問支援を利用したことで、課題や困りごとが解消または軽減されましたか。	○			対象児も安心して学習を進められたと思います。	今後も、対象児が安心感につながる支援を強化してまいります。
5	事業所からの支援に満足していますか。	○			大変満足しております。いつもありがとうございます。	
その他のご意見					ご意見を踏まえた対応	
・いつも相談にのっていただきアドバイスをありがとうございます。今後ともよろしく願いいたします。 ・時間割が前週の金曜日に決定するため、いつも日程調整の連絡がギリギリになってしまい大変申し訳ございません。これからもよろしくお願いいたします。					今後も、園との連携を大切にしながら、相談しやすく利用しやすい訪問支援を継続できるよう、支援の質向上に取り組んでまいります。	

公表

事業所における自己評価結果

事業所名		児童発達支援センターおかば学園					公表日	2026 年 6 月 30 日	
		チェック項目	はい	いいえ	工夫していると思う点・改善が必要だと思われる点など	課題や改善すべき点			
環境・整備・運営	1	訪問支援に使用する場合の教具教材は適切であるか。		○	現在、訪問の際に教具教材は使用していません。	今後、学校園と対象児の状況に応じて必要な場合には適切な教具教材を選定し活用していきます。			
	2	利用希望者に対して、職員の配置数は適切であるか。	○						
業務改善	3	業務改善を進めるためのPDCA サイクル(目標設定と振り返り)に、広く職員が参画しているか。	○						
	4	保護者向け評価表により、保護者等の意向等を把握する機会を設けており、その内容を業務改善につなげているか。	○						
	5	従業員の意見等を把握する機会を設けており、その内容を業務改善につなげているか。	○		定例会議だけでなく、日頃より訪問状況や訪問時の様子を共有しています。				
	6	第三者による外部評価を行い、評価結果を業務改善につなげているか。	○		第三者により外部評価は実施していません。	今後、必要な際には外部評価も取り入れていきます。			
	7	職員の資質の向上を図るために、研修を受講する機会や法人内等で研修を開催する機会が確保されているか。	○						
適切な支援の提供	8	個々のこどもに対してアセスメントを適切に行い、こどもと保護者のニーズや課題を客観的に分析した上で、保育所等訪問支援計画を作成しているか。	○		園・保護者からの聞き取りをもとに、こどもの特性や課題を客観的に整理し、ニーズに沿った支援計画の作成に努めています。				
	9	保育所等訪問支援計画を作成する際には、児童発達支援管理責任者だけでなく、こどもの支援に関わる職員が共通理解の下で、こどもの最善の利益を考慮した検討が行われているか。	○						
	10	保育所等訪問支援計画を作成する際には、訪問先施設の担当者等と連携し、訪問先施設や担任等の意向を盛り込んでいるか。	○						
	11	保育所等訪問支援計画が職員間に共有され、計画に沿った支援が行われているか。	○		個別支援計画書をもとに、計画に沿った支援を実施しています。				
	12	こどもの適応行動の状況を、標準化されたツールを用いたフォーマルなアセスメントや、日々の行動観察なども含むインフォーマルなアセスメントを使用する等により確認しているか。	○		事業所内のアセスメントシートを活用しています。	支援の質向上のため、随時アセスメントの内容の見直しや、ツールの活用をしています。			
	13	保育所等訪問支援計画には、保育所等訪問支援ガイドラインの「保育所等訪問支援の具体的内容」も踏まえながら、具体的な支援内容が設定されているか。	○						
	14	保育所等訪問支援計画が職員間で共有され、計画に沿った支援が行われているか。	○						
	15	支援開始前には職員間で必ず打合せを行い、その日行われる支援の内容や役割分担について確認し、チームで連携して支援を行っているか。	○						
	16	支援終了後には、職員間で必ず打合せを行い、その日行われた支援の振り返りを行い、気付いた点等を共有しているか。	○		訪問支援終了後には、職員間で情報共有を行っています。				
	17	保育所等訪問支援を実施する際、訪問先の理念や支援手法を尊重して支援を行っているか。	○		訪問支援前に訪問支援を実施するにあたっての取り決め書の説明と同意を得ています。				
	18	毎回の支援に関して、記録を取ることを徹底し、支援の検証・改善に繋げているか。	○						

	19	定期的に保護者や訪問先の意向の確認やモニタリングを行い、保育所等訪問支援計画の見直しの必要性を判断し、適切な見直しを行っているか。	○		更新の際には、保護者、訪問先の意向確認を行ったうえで見直しを行っています。	
関係機関や保護者との連携	20	障害児相談支援事業所のサービス担当者会議や関係機関との会議に、そのこどもの状況をよく理解した者が参画しているか。	○			
	21	地域の保健、医療（主治医や協力医療機関等）、障害福祉、保育、教育等の関係機関と連携して支援を行う体制を整えているか。	○			
	22	就学時の移行の際には、小学校や特別支援学校(小学部)との間で、支援内容等の情報共有と相互理解を図っているか。	○			来年度、就学予定児がいる為、支援内容の情報共有と相互理解いただけるよう努めています。
	23	質の向上を図るため、積極的に専門家や専門機関等に助言を受けたり、職員を外部研修に参加させているか。	○			
	24	(自立支援)協議会子ども部会や地域の子ども・子育て会議等へ積極的に参加しているか。	○		北区自立支援協議会の子ども部会に参画しています。	
	25	日頃からこどもの状況を保護者と伝え合い、こどもの発達の状況や課題について共通理解を持っているか。	○		保護者と随時情報共有を行っています。	
	26	家族の対応力の向上を図る観点から、家族に対して家族支援プログラム(ペアレント・トレーニング等)や家族等の参加できる研修の機会や情報提供等を行っているか。	○			今後、保護者への情報共有や研修の機会の充実に努めています。
保護者等への説明等	27	運営規程、利用者負担等について丁寧な説明を行っているか。	○			
	28	訪問先施設に対し、事業の趣旨や訪問支援の目的等について適切に説明を行っているか。	○		初回訪問前に、必ず訪問先施設にご挨拶と事業所の趣旨、目的、訪問時のルール等の説明をさせていただいています。	
	29	保育所等訪問支援計画を作成する際には、こどもや保護者の意思の尊重、こどもの最善の利益の優先考慮の観点を踏まえて、こどもや家族の意向を確認する機会を設けているか。	○		個別支援計画書作成、更新の際には、保護者や対象児の意向を確認する機会を設けています。	
	30	「保育所等訪問支援計画」を示しながら支援内容の説明を行い、保護者から保育所等訪問支援計画の同意を得ているか。	○			
	31	定期的に、家族等からの子育ての悩み等に対する相談に適切に応じ、必要な助言と支援を行っているか。	○			
	32	父母の会の活動を支援することや、保護者会等を開催する等により、保護者同士で交流する機会を設ける等の支援をしているか。また、きょうだい同士で交流する機械を設ける等の支援をしているか。		○	保育所等訪問支援事業として保護者会やきょうだい同士で交流する機会は設けていません。	保育所等訪問支援事業としては実施していませんが、児童発達支援センターおかば学園(児童発達支援・放課後等デイサービス)として実施しています。
	33	こどもや保護者からの相談や申入れについて、対応の体制を整備するとともに、こどもや保護者に周知し、相談や申入れがあった場合に迅速かつ適切に対応しているか。	○		保護者より相談があった場合、適切に対応をしています。	
	34	定期的に通信等を発行することや、HPやSNS等を活用することにより、活動概要や連絡体制等の情報をこどもや保護者に対して発信しているか。		○	保育所等訪問支援事業としてHPやSNS等を活用し、発信はしていません。	保育所等訪問支援事業としては発信していませんが、児童発達支援センターおかば学園(児童発達支援・放課後等デイサービス)として発信しています。
	35	個人情報の取扱いに十分留意しているか。	○			
	36	障害のあるこどもや保護者との意思の疎通や情報伝達のための配慮をしているか。	○			
訪問先施設	37	訪問支援に加え、訪問先からの相談等に適切に応じる体制を整え、必要な助言や支援を行っているか。	○			
	38	保育所等訪問支援の実施後に、訪問先施設とカンファレンスを行っているか。	○			
	39	保育所等訪問支援の実施後に、家族等へ適切に支援内容等の共有を行っているか。	○			

への説明等	40	個人情報の取扱いに十分留意しているか。	○			
	41	訪問先施設からの相談に適切に応じ、信頼関係を築きながら、専門的な助言を行っているか。	○		訪問先からの相談には、園の状況や対象児の様子を丁寧に把握したうえで、実践しやすい形で助言を行うことを心がけています。また、日頃からこまめな情報共有と対話を重ねることで信頼関係を築き、安心して相談いただける関係づくりに努めています。	
非常時等の対応	42	事故防止マニュアル、緊急時対応マニュアル、防犯マニュアル、感染症対応マニュアル等を策定し、職員や家族等に周知するとともに、発生を想定した訓練を実施しているか。	○			
	43	安全計画を作成し、安全管理に必要な研修や訓練、その他必要な措置を講じる等、安全管理が十分された中で支援が行われているか。	○			
	44	ヒヤリハットを事業所内で共有し、再発防止に向けた方策について検討をしているか。	○			現状、ヒヤリハットは発生していないが、今後発生した場合には再発防止に向けた対策を都度検討していきます。
	45	虐待を防止するため、職員の研修機会を確保する等、適切な対応をしているか。	○		法人内部で実施される研修に参加しています。	今後も虐待を防止に関する研修への参加や事業所内での支援の振り返りを実施していきます。
	46	どのような場合にやむを得ず身体拘束を行うかについて、組織的に決定し、子どもや保護者に事前に十分に説明し了解を得た上で、児童発達支援計画に記載しているか。		○	身体拘束の指針は整備しているが、個別支援計画には記載していません。	身体拘束に関する内容は、今後必要に応じて子どもや保護者に説明し理解を得た上で個別支援計画書に記載をしていきます。